



笑顔あふれる大北小 夢が広がる大北小

大北小だより

11月号

平成30年 10月 31日
練馬区立大泉北小学校
校長 内木 勉

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

笑顔あふれる学校を目指して

校長 内木 勉

秋の爽やかな青空が広がる日が続いています。登校してくる子どもたちに挨拶をしていると、いろいろな子どもたちの表情に出会います。ニコニコ笑顔で登校してくる子。友達とのおしゃべりに夢中で歩いてくる子。うつむいてトボトボ歩いてくる子。しくしく泣きながら歩いてくる子…。思わず「どうしたの？」と声をかけると、「家で叱られた…。」「友達とけんかしちゃった…。」「あまり学校に行きたくない…。」などさまざまな答えが返ってきます。子どもたちはいろいろな思いを抱えながら学校生活を送っていることを実感しています。大北小にもいじめが存在します。そのために苦しんでいる子がいます。いじめの芽もあります。それをしっかり摘み取ろうと、全教職員が情報共有しながら対応に取り組んでいます。11月は練馬区*の*いじめ一掃取組月間です。大北小では、笑顔あふれる学校を目指して、「いじめ0（ゼロ）」を目指し、全校で考え取り組みます。

いじめの芽は「言葉づかい」から生まれると考えています。子どもたちの言葉づかいの荒さや行動の粗暴さが、いじめにつながっています。呼び捨てにしたり、平気で相手の嫌がる言葉を使ったり、嫌がることをしたりする言動が目立ってくると、子どもたちの感覚が麻痺して「死ね」とか「バカ」などの言葉が平気で使われてきます。それがいじめとなっていきます。全学級全学年で「相手の嫌がる言葉を使わない、嫌がることをしない」ことを徹底していきたいと思えます。また、温かい言葉・ぽかぽか言葉を子どもたちにたくさんかけていきたいと思えます。また、最近気になるのは、いじめに対する指導をしていると「そんなつもりじゃなかった」「ふざけていただけ」「いじられキャラだから」といった言葉に出会うことの多さです。いじめには、ここからがいじめで、ここまではいじめではないという境界線はありません。いじめは、いじめた側の判断ではなく、行為を受けた側が「心身の苦痛を感じているもの」全てがいじめなのです。「いじり」や「悪ふざけ」、「ちょっかい」や「からかい」なども、受けた側が苦痛を感じればいじめなのだということを、今一度しっかり認識させていかなければならないと痛感しています。

11月は練馬区いじめ一掃取組月間です。大北小では、「いじめ0」を目指し、全校で考え取り組みます。ご家庭の皆様、地域の皆様、大北小が今まで以上に笑顔あふれる学校になれるようお力をお貸しください。よろしく願いいたします。

大北小いじめ0へのやくそく

ゼロ

1. 友だちをたいせつにし、いやがることをいったりしたりしません。
2. いじめを見たら、「だめだよ!」「やめなよ!」と言います。
3. いじめを見たら、先生やまわりの人に知らせます。
4. こまったときには、すぐにかぞくや先生にそうだんします。
5. 友だちをさそい、ひとりぼっちをつくりません。
6. 心を元気にする、ぽかぽかことばをふやします。
7. だれとでもなかよくし、えがおあふれる学校にします。

武石移動教室

6年担任
山川 美帆

6年生は、10月2日(火)から5日(金)まで、3泊4日の武石移動教室に行ってきました。直前まで台風の影響が心配されましたが、1年生からもらったてるてる坊主のおかげで4日間よい天気で過ごせました。

1日目は、うどん作りとウォークラリーをしました。地元の名人に教わりながら作ったうどんはそのまま昼食となりました。様々な食感を味わいました。ウォークラリーでは、宿泊施設ベルデ武石周辺の自然を感じながら、班の友達と協力してクイズにチャレンジしました。

2日目は、鷹山ファミリー牧場で酪農体験をしました。ヤギの散歩をしたり、牛の世話をしたりしました。中には、明日出荷される牛もいて、「命」について深く考えるよい体験となりました。夜は、吉田先生率いる係の6年生が、キャンプファイヤーでみんなを大いに盛り上げてくれました。



3日目の午前は、美ヶ原高原を散策。家族のお土産選びをしました。午後は、黒曜石ミュージアムで縄文人が狩りで使っていた矢じりと同じ材料で、キーホルダー作りなどをしました。夜は、生活班対抗で「パフォーマンス大会」をしました。課題曲は、DAPANPの『U.S.A』。友達と練習した成果を披露しました。

最終日は、森將軍塚古墳や長野県立博物館でバックヤード見学をしました。くにを守る支配者の気持ちになって景色を

眺め、本物の縄文土器や弥生土器を持って重さを比べるなどの学習ができました。

6年生は、今回2回目の移動教室でしたが、昨年の課題であった「気持ちのよい挨拶」「時間厳守」「自主性」を見事クリアしました。仲間と支え合い、学習に取り組む姿は、周囲の大人を何度も感動させました。どんな困難も笑顔に変えて乗り越えられる6年生。みんなで作り上げた学年カラーは、小学校を卒業してからも大切にできるよう、今後共学年で指導して参ります。



研究だより～5年生 研究授業～

5年担任

「比べ方を考えよう（算数）」

5年1組担任 都丸 裕貴

5年1組は、算数「比べ方を考えよう」の単元でプログラミング教育の実践を行いました。平均を求めるときに、データの個数が数個程度ならば、容易に計算できますが、数十を超える個数になれば速く正確に求めることが難しくなります。今回の研究授業は、たくさんの量のデータ処理が必要な場面から、パソコンでプログラムにより処理ができないか考えるところから始まります。

今回教材として扱ったプログラミング教材「プログル」の「平均コース」<https://proguru.jp>は、「ディスプレイにジュースのボトルの本数を表示させる」という簡単な課題から順に、スモールステップで学んでいくことができる教材です。どのような記号を選び、それをどんな順序でコンピュータに与えたらよいかを学ぶことができ、最終的には「合計÷個数＝平均」を求めるプログラムへステップアップしていくものです。一度プログラムを作ってしまうと、たくさんの量のデータをすぐに処理できることよさや、一度考えたプログラムが何度でも使えることよさ等、子供たちがプログラミングの有効性を実感できたと思います。

「漢字の仲間分けをしよう（国語）」

5年2組担任 畠山 華衣

5年2組は、国語「漢字の仲間分けをしよう」という教材でプログラミング教育の実践を行いました。複数ある漢字の特徴の中から、一つしか当てはまらないその漢字の特徴を見つけて（情報の抽象化）、漢字を分類していくプログラムを作っていきます。どのような特徴をどの順序で組み合わせたら効率のよい判別プログラムになるか、子供たちは一生懸命考えました。自分で考えたプログラムが正しいかは、友達との漢字当てクイズを通して、確認し合いました。楽しみ合いながら、プログラミングについて学習することができました。この教材で学んだ情報の抽象化を様々な学習に生かしていきたいと思います。

「跳び箱運動」

5年3組担任 高橋 諒

5年3組は器械運動「跳び箱運動」でプログラミング教育の実践を行いました。今回の学習では、自分の技をより良くすることは勿論ですが、友達の技をより良くするためにどのような改善を行えばよいか、ということに視点を当てました。この活動に重点を置くことで、子供たちが友達の技に対しての改善点を論理的に考え、伝える力が育んでいけるようにということをおねらい、授業を進めていきました。当日は、学習資料を活用しながら友達の技のどこを改善するとよりよくなるのかを伝え合いながら、友達の技を高められるように一生懸命に運動に取り組みました。この活動を別の単元や、他教科にも生かしていきたいと考えたいと思います。

展覧会に向けて

図画工作科 市川佳純

テーマ

見つけよう、表そう！自分の色・形

今月始めに予定している展覧会。

今年度のテーマには、自分の思いやひらめきを大切に、色や形を工夫しながら最後まで自分の作品と向き合い、自分らしさ、自分なりの良さを表現できるようにしてほしい。という思いを込めています。

今年も、異学年で交流して、作品を紹介し合う時間を設けます。また、6年生による学芸員の取組も行います。

展覧会は、作品を通して、自分の思いや発想、頑張りを見てもらい、認めてもらう喜びを味わわせることが大きなねらいのひとつです。

みんなの「思い」が集まった大北小の展覧会、ぜひご来場ください。

大北オリンピックの様子

特別活動部 久保 安代

今年度、本校で初めての「大北オリンピック」を10月19日（金）に行いました。1・2年生は生活科、3年生以上は総合的な学習の時間を通して学習を進めました。1・2年生は日本文化の継承、3・4年生はスポーツ、5年生は国際理解や国際交流について、6年生は日本文化に関連するお店を出しました。大北オリンピックが行われる週には、クラスの代表児童がお昼の放送でお店紹介を行ったり、クイズも取り入れて楽しみながらオリンピックについて学ぶ集会を代表委員の児童が行ったりしました。当日は、各クラスが団結し児童同士が協力して活動する姿も見受けられました。多くの人にお店に来て遊びや競技、調べた事を知ってもらおうと大きな声で呼びかけている児童もいました。そして「お店の成功！」という目標に向かって頑張る児童から熱気を感じた有意義な時間でした。

11月 行事予定

※予告なしの避難訓練をおこないます

1	木	
2	金	安全指導 読書旬間終
3	土	文化の日
4	日	
5	月	全校朝会 4時間授業
6	火	遠足（1年）
7	水	児童集会
8	木	展覧会56h（児童鑑賞始）
9	金	展覧会
10	土	展覧会 土曜授業公開
11	日	
12	月	全校朝会 委員会⑦
13	火	
14	水	けやき班遊び
15	木	C時程 就学時健診
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	全校朝会 クラブ
20	火	B時程 個人面談
21	水	給食委員会集会
22	木	B時程 個人面談
23	金	勤労感謝の日
24	土	
25	日	
26	月	全校朝会 B時程 個人面談
27	火	B時程 個人面談
28	水	C時程 4時間授業 （教育会全体研究会のため） 持久走旬間始
29	木	歯垢染色指導6年 4時間授業（泉新小学校研究発表のため）
30	金	B時程 個人面談

教材費の口座引き落としについて

練馬区では、集金にともなう事故をなくすため、区内各校に今年度から集金袋による教材費の集金を取りやめ、口座引き落としによる集金の開始を指示しています。これを受け、大泉北小学校では、11月の集金から教材費の引き落としを始めます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

具体的には、今回は書き初め用紙の代金（1～2年生は130円、3～6年生は120円）を給食費とともに引き落とします。また、1月には、3学期分の教材費（各学年ごとに異なります）を同様に給食費とともに引き落としますので、残高についてご注意ください。

給食費と教材費の同時の引き落としについては、手数料が1回分で済み、負担増加を防ぐためです。一方、予め金額の確定しない集金（社会科見学のバス代や調理実習代など）や学年全体で集金しないような集金等（クラブ活動の材料費など）は、従来通り集金袋で集めます。これは、引き落とし日前に引き落とし額を決めておかななくてはならないこと、個別に引き落とし額を決められないことからです。ご理解ご協力をよろしくお願いたします。